



「証城寺の狸囃子」の曲を楽しもう!!

—狸がブラジルに旅行したかのような感じで— (松平敬さんの言葉より)



8月21,28日の練習から

- 証城寺の狸林：
- ・ p 31、(こいこいこいー) のリズムに注意。「こおいこおいこおい」の様に「お」の母音をもっとのばして。前つのもりにならない様に。
 - ・ p 31、(おいらのともだちゃ) は、1 個の塊と思って。歯切れよく。「ちゃ」は短くて良い。「の、と」のリズムに注意。
 - ・ p 32、(しょうじょうじー) にアクセントをつけて。1 音ずつ長めに重たく。最後の「じ」は 3 拍目の直前に入れて。早すぎない事。
 - ・ p 33 の掛け声をやることにする。(ポンポコポンのポン) は、{ポンポコポノポン} とうたってよい。(ポン) は「N」で伸ばすように。
 - ・ p 34 (まけるなまけるな) はアルト発信。出だしに注意。歌うように、盛り上がっていきたい。
 - ・ p 35 (しょしょしょじょじー) は、少レールダウンさせてから、落ち着いて入りたい。
 - ・ p 37 (ポンポコポンのポン) ほ「N」を早めに言って短く終わらせる。その方がサンバっぽさがある。ff でアクセントをつけて。

おんがく：

- ・ 4 分音符=63 だが、ちょっと前向きに歌いたい。
- ・ 出だしの (かみさまだったらー) は下降型だが、急がないで、かみしめながら、繊細さをもっておりてきて。2 回目の (かみさまだったらー) は歌い直す感じで、上昇する感じで歌うと良い。
- ・ (みえるのかしらー) は急がないで。
- ・ p 40 (みみをふさいでー) は、テノール発信でそれぞれのパートが折り重なり厚みを増していく感じでクレッシェンドしていく。
- ・ p 42 (そのむねにだかーれてー) は、f から ff へと厚みをましていく。
- ・ p 42 (かみさまーだたらー) は、p で味わいながら柔らかく歌う。
- ・ p 43 (ながめていたいー) は最後まで、rit.がかかっているので注意。アカペラは、最後まで緊張感をもって。気を抜くところはない。

連絡： 1、茶話会のお知らせ 10/9 (水) 18:00~18:50 まで、ジョナサンにて。(その後練習あり。)

わずかな時間ですが T さんとおしゃべりの時を持ちたいと思います。是非ご参加を!

(T さんは、10/21 帰国予定。10/16 は最後の練習参加日です。)

- 2、10/23, 19:00~21:00、講座室 1 で練習
10/30, 19:00~21:00、視聴覚室で練習。
- 3、11/16 (土) 合唱祭 (曲、未定)

